

## マーケットの動き（2024年2月26日～3月1日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で下落（円高）しました。米国金利の上昇による日米金利差の拡大を意識した米ドル買いが優勢となった一方、日銀による政策正常化を意識した円買いの動きもみられ、米ドルは150円台を上下する展開となりました。ユーロは前週末比、対円で下落した一方、対米ドルで上昇しました。

## 投資環境見通し（2024年2月）

## 円に対して米ドルは強含み、ユーロは小幅に上昇

**米ドル：**中期的には日米金利差が縮小するとみられることから、円高ドル安方向に向かうとみています。ただし、短期的にはFRB（米国連邦準備制度理事会）による早期の利下げ観測、および日銀による早期の政策修正観測がともに後退する可能性があり、新NISA（少額投資非課税制度）を通じたドル買いもあり、ドルは円に対して強含むとみています。

**ユーロ：**ECB（欧州中央銀行）による早期の利下げ観測が後退するとともに、賃金上昇率の高止まりを背景としたインフレ警戒感も根強いことから、ユーロは円に対して小幅に上昇するとみています。

	3月1日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	150.13	▲0.41	1.85	3.68	13.79
ユーロ/円	162.67	▲0.23	2.51	4.72	18.18

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

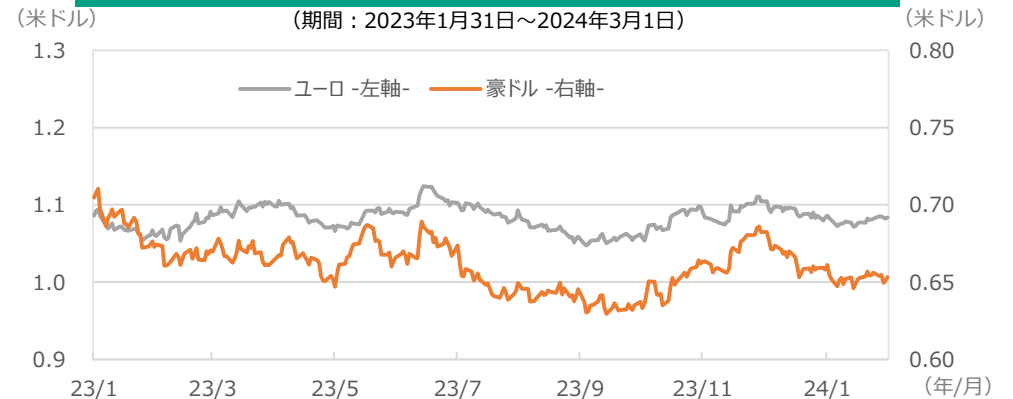
[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202402\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202402_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 為替レートの推移（対日本円）



## 為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成